

【もしもの時に備えて！防災トイレづくり体験】

5/15に第2回防災アドベンチャークラブを開催しました。

今回は、災害時に大きな課題となる【トイレ問題】について学びました。

熊本地震などの被災地では、断水や排水管の破損によりトイレが使えなくなり、
多くの方が困ったこと

『食料や飲み水』だけでなく、『トイレの備え』も大切であることを学びました。



その後、子どもたちはダンボールを使った簡易防災トイレづくりに挑戦しました。身近な材料で作れることを体験し、災害時に役立つ知識を身につけました。

また、凝固剤・新聞紙・ペットシート・紙おむつを使った吸水実験も行い、それぞれの特徴や吸水力の違いについて学びました。

災害はいつ起こるかわかりません。だからこそ、日頃から備えておくことが大切です。

ぜひご家庭でも、防災トイレや災害時のトイレ対策について親子で話し合うきっかけにしていただければ幸いです。

なお、子どもたちが作成した防災トイレは、児童玄関・職員室前に展示していただき、多くの皆さんにご覧いただきました。

長田・志真志自主防災ゆいまーる

会長 石原 昌儀

